

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 すがお 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙で、「運動やスポーツを行って楽しいと感じたのは、どのようなときか。」について、「大人に褒められたとき」との回答が全国比を上回っていた。これは、学校のみならず、スクールヘルパーの方々をはじめ、保護者・地域の方々が、様々な場面で子どもの成長を見守ってくださっている成果だと考える。多くの児童が始業前のランニングタイムや週1回のすがおミニオリンピックで運動やスポーツを行っており、その場にもスクールヘルパーさん達が率先して関わってくれている。今後も体力向上への取組を多くの児童が継続するとともに、他の取組等も工夫し、運動やスポーツで楽しいと感じる瞬間を増やしていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙で、「体育の授業で、学んだことを振り返る活動を行っているか。」や「体育の授業では、友達同士で話し合う活動を行っているか。」について肯定的な回答が全国比を上回っていた。これは、本校が取り組んでいる学力向上に向けた学習指導のポイントが、体育科の学習でも定着しているものと考えられる。課題は、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙「体育の授業で、ビデオ・デジタルカメラ・タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っている。」では、肯定的な回答が30%弱にとどまっていることである。次年度は、ICT機器の積極的活用を進めていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

1校1取組として、週1回の体づくりタイムを「すがおミニオリンピック」と題して、運動場においては走を中心にした運動やドッジボール、体育館では長縄跳びやフープを使った様々な動きづくりを実施した。雨天時等も体育館でドッジビーを行う等、確実に週1回実施して、児童の体力向上及び運動習慣の定着を目指した。

また、今年度は委員会活動の運営による「すがおミニオリンピック」を実施し、子ども達が主体となって運動に取り組む機会を設けた。全校児童が、上級生を中心に生き生きと活動する姿が多く見られ、今後より子ども達の主体的な活動となるように工夫を加えながら実践を続けていく。